

第2期いなべ市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見及び回答

	内 容	回 答
意 見 ①	1. 基本理念について 人、「緑」、地域で子どもを育むということで、「緑」については具体的に何の施策示されるのか。	貴重なご意見ありがとうございます。 具体的な施策としては、自然学習・野外体験等といった、「自然」を活用した子育て施策を示しています。
	屋根の無い学校は、保護者と子どもたちの発達発育のニーズそして時代のニーズに合っているかの検証をしていただきたいです。自然にふれる活動こそ、アクティブラーニングであってほしいです。	屋根のない学校へのご参加ありがとうございます。 いただきましたご意見や、講師・他の参加者のご意見等もふまえながら、参加者の方により満足いただけるよう推進を図ってまいります。
	まわりに自然があるにもかかわらず、子どもたちには「自然遊び」が足りていないのではないかと考えています。 そこで、全市で野外体験保育に取り組むいなべ市こそ、市内の子どもたちが自由に自然遊びができる雑木林等フィールドを市で開放し、市民に運営を委託した「プレーパーク」を誕生させていただきたいです。	野外体験保育への取り組みにつきご理解いただきありがとうございます。 ご意見いただきましたとおり、豊かな自然を子育てへ活かしたい、というのが当市の考えです。 いただきましたご意見につきましては、今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。
	「緑」に関しては、グリーンクリエイティブいなべの事業とも連携して、いなべの自然を教育の資源としてもっとフォーカスしていただきたい。子育てしやすい町、子育てにぴったりの町としてとても輝くと思います。	現段階では、グリーンクリエイティブいなべの事業との連携した施策はございませんが、当市の自然を活かした事業を展開する本事業や、その他の事業との連携も視野に入れながら、今後の施策を検討してまいります。
意 見 ②	基本目標1の施策（1） 地域における子育て支援の充実 現在行っている支援として、ブックスタートや赤ちゃん訪問については、私としては育児の補助的な支援＝本当に子育てが辛い人への直接的な支援とはなっていないのではないかと考えています。本当の子育てのつらさや大変さは、子どもとの向き合い方がわからなかったり、わからないことがわからなかったりといった点だと思います。育児に主に携わる人の本当のつらさへのアプローチになっているのか検証をしていただければいかがでしょうか。産後の3ヶ月の訪問ケアや家事のサポートができる産後ドゥーラの育成や、いなべ独自の産後ドゥーラシステムの開設などをぜひ行っていただきたいです。または市民がそれを組織した場合に、市に連携をし	貴重なご意見ありがとうございます。 当市ではこにちは赤ちゃん訪問をはじめ、ブックスタートや1歳おめでとう訪問等により、母子全員に寄り添う機会を設ける事業をおこなっており、特に支援が必要な家庭へは関係機関と連携し、継続した支援をおこなっています。 様々な要因により、子育て支援はより一層重要になっていると当市も考えています。 いただきましたご意見につきましては、今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。

	<p>ていただき、どのお母さんも等しくサポートを受け安心して妊娠・出産できるようこれが施策に盛り込んでいただけると本当にうれしいなと思います。</p> <p>移住者は特に、近隣に祖父母がいないことも多いので、移住促進&少子化対策には、産前産後のケアを行政がサポートしてくれること必須です。</p> <p>ブックスタートと『ウッズスタート』を選択できる、もしくは両方、育児支援として行ってもらえたらうれしいです。</p>	<p>子育て支援センターには木製のおもちゃを多く備え置き、幼少期から木のぬくもりに触れていただく機会を設けるように取り組んでおります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p>
意見 ③	<p>基本目標1 施策2 保育園</p> <p>母親が日・祝にも安心して働けるよう市内何ヶ所か合同保育等で保育可能日を設けていただくシステム。サービス業や自営業の母親は、本当に大変な想いをして経済的に、また自己実現に向けて努力しています。</p> <p>また、病時保育ができる場所を市内にも作っていただくことを希望します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本市としても継続して検討している内容ではありますが、現状の国・県・市の財源負担の状況と、限られた数の保育士及び実施可能な医療機関の不足により、実施が困難であるのが現状です。</p> <p>ただし、ご意見を参考にしつつ、子育ての環境が大きく変化している現状をふまえ、引き続き施策の検討をおこなってまいります。</p>
意見 ④	<p>基本目標1の施策(4)</p> <p>1子どもを安心して産むための支援</p> <p>3人の子を妊娠・出産してから、独自に勉強をして「そんな大事なことを知らなかった」と思うことや「もっと早く知っておきたかった」と思うことが多いです。</p> <p>正しい知識と必要な情報を得られる教室や講座を必修科目のようにできればよいのにな、と思います。</p> <p>母子手帳に記載される内容が、最近の脳科学の見解や、これからの時代に合ったものに更新されているかどうか、懐疑的です。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>子育てにかかわる本市事業の案内につきましては、子育てガイドブック等の冊子配布や本市HPを通じ発信しています。</p> <p>また、子育て等における情報提供は、日ごろご利用いただいている子育て支援センターや保育園、また、ぷれ mama セミナーや離乳食教室等においても発信しています。</p> <p>より多くの方に知ってもらえるよう、情報発信の方法について、今後も検討をおこなってまいります。</p> <p>母子健康手帳の記載内容につきましては、母子保健法および厚生労働省令で定められている内容になりますので、ご理解いただけますと幸いです。</p>

※いただいたご意見について、見やすくなるよう内容に影響を与えない範囲で校正し表示しております。